

先端技術セミナー

施設園芸における “環境^{プラス} + 労務^{プラス} + 生育”情報活用の展望

平成30年 2月28日(水) 13:00~16:30 入場無料

定員100名

■主催: 日本施設園芸協会

愛媛大学植物工場研究センター

■後援: 愛媛大学植物工場研究センター(事務局)、日本生物環境工学会 生物生体計測部会・施設生産システム部会・四国支部、ai tomato(農林水産省 人工知能未来農業創造プロジェクト)

■場所: イノチオホールディングス(株)本社
イノチオホール
(愛知県豊橋市向草間町字北新切95)

■開催趣旨:

太陽光植物工場は、太陽光条件下において経済的合理性を確保しながら環境制御により高効率の植物生産を行う施設であり、そこでは、先端的農業技術とICT・自動化技術・機械化技術等の先端的工業技術を融合した生産効率の最大化を目指した様々な取り組みが続けられている。特に、近年のIoT技術の飛躍的発展により、高時間分解・高空間分解の環境情報や労務情報の取得が可能になっただけでなく、従来の栽培管理ではほとんど注目されてこなかった植物生体情報(生育情報)の取得も可能になりつつある。本セミナーでは、施設園芸における“環境・労務・生育”情報活用の展望について検討するとともに、数年以内の実用化を想定した技術開発のあり方について議論する。

■次第

司会: 稲葉一恵

(PLANT DATA(株)、愛媛大学大学院農学研究科)

13:00 はじめに

高山弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科 教授)

13:10 「太陽光植物工場における植物生体情報の多面的活用」

高山弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科 教授)

13:50 「先端的データ解析の太陽光植物工場への適用」

西原 立(PwCあらた有限責任監査法人 ディレクター)

14:30-14:45(休憩)

14:45 「浅井農園が考える技術展望

—植物生体情報とロボット—

浅井雄一郎(株)浅井農園 代表取締役)

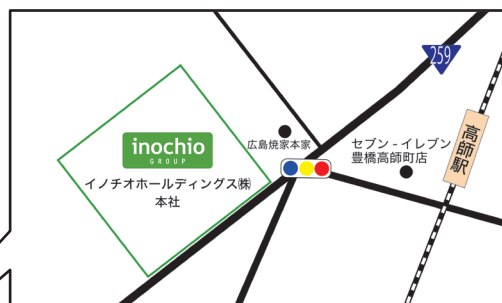
15:25 「イノチオが考える農業経営の課題と対策」

大門弘明(イノチオホールディングス(株)

執行役員・事業開発部長)

16:05 総合討論(司会:高山弘太郎)

16:30 閉会



イノチオホールディングス(株) 本社 イノチオホール

(愛知県豊橋市向草間町字北新切95)

駐車可能台数に限りがございますので、
なるべく公共交通機関をご利用下さい。

【電車をご利用の場合】

JR豊橋駅より豊橋鉄道渥美線乗車「高師駅」下車、徒歩3分。

【お車をご利用の場合】東名高速道路 豊川ICから約30分 豊川IC出口より豊橋方面下車、国道151号線を豊橋方面へ走行し「城下」交差点を左折。県道400号線を走行し「瀬上」の交差点を左折、国道1号線を経由し国道259号線を15分ほど走行。

■参加申込・お問合せ先

参加申込 HP: <https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo2/mpmailec/form.cgi>

○問い合わせ 高橋(事務担当 岩井)(愛媛大学農学部・植物工場研究センター)

[E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp]